

報道機関各位

県内大学生に青森の魅力を伝えるYES! AOMORIワークショップを開催します

県では、若者の県内定着・還流に向け、青森の価値や魅力、可能性、「変わってきた青森」の今を発信する取組を「YES! AOMORI」をキャッチフレーズに展開しています。

この度、この取組の一環として、県内の社会人との交流を通じて、学生に地域の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらう学生ワークショップを開催しますので、当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

記

- 日時** 令和4年6月24日（金）12:50～16:00
- 場所** 青森中央学院大学学術交流会館2階大講義室（〒030-0132 青森市横内神田12-1）
- 内容等** 別添のとおり
- 参加者** 青森中央学院大学第3学年58名
- その他** 会場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手指の消毒等へのご協力をお願いします。

| 報道機関用提供資料 | |
|------------|---------------------------------------|
| 担当課 担当者 | 企画政策部地域活力振興課 移住・交流推進グループ 副参事 大中 幸子 |
| 電話番号 | 直通：017-734-9174（内線2734） |
| 報道監 | 企画政策部 次長 美濃谷 邦康 |

YES! AOMORI ワークショップ2022 (青森中央学院大学)

- 1 目的** 若者の県内定着・還流に向け、県内社会人との交流を通じて、学生に地域の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらうとともに、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらう。
- 2 日時** 令和4年6月24日(金) 12:50~16:00
- 3 対象** 第3学年58名(3~4名×16グループ)
- 4 会場** 青森中央学院大学 学術交流会館2階大講義室(〒030-0132 青森市横内神田12-1)
- 5 プログラム**

(1) 青森県内で働く先輩社会人によるゲストトーク

青森で暮らし働く魅力や、青森県の可能性など、青森の未来に前向きになれるトーク

ゲスト 合同会社南部どき 代表社員 根市大樹氏

青森県南部町出身。大阪芸術大学卒業後、新聞記者、オーストラリアなどへの留学を経て、2011年に弟でシェフの拓実さんとフレンチレストランを開店。農業のかたわら「NPO法人青森なんぶの達人村」立ち上げに関わり、2016年に合同会社「南部どき」を設立。2018年12月には三戸駅前にカフェをオープンし、南部町産の果樹のウッドチップを使ったスモークナッツ等の製造・販売を行うなど、地域活性化に力を注ぐ。

(2) グループワーク (ファシリテーター: 県職員16名)

① 価値観カードゲーム

- ・手にしたカードを自身の価値観、大切にしたいものと照らし合わせ、ピンとこないカードを手放していくゲーム感覚のワーク。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、自身の価値観を具体化しながら、それを実現するのに適している場所について考えていく。

② 社会人との対話による「青森の価値」発見

- ・カードゲーム結果を基に、社会人ファシリテーターが学生の価値観を掘り下げながら、「青森の価値や魅力、可能性」などを引き出していく。

③ 「私にとっての青森」の発表・共有

- ・ワークを踏まえ、学生がそれぞれの「私にとっての青森」とは何かを考え、発表する。

6 会場 (青森中央学院大学 学術交流会館2階大講義室)

